

## 異常な行動が記録されている事例

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-00913386	不明	■歳	150 mg	なし	易興奮性	軽快	インフルエンザ治療にリン酸オセルタミビル服用開始。母親から医師への連絡では、服用した夜、就寝中に暴れた。患者は薬を飲むのが嫌いで、以前にも他剤で夜中に暴れたことがあった。本剤投与中止し興奮軽快。
2	B-02901480	男	■歳	75 mg	トシル酸トスフロキサシン ザルトプロフェン	妄想 幻覚	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与。投与1時間後(夜間)に幻覚・妄想が出現。その後、回復したが、翌朝の服用(2時間)後に再び幻覚・妄想が出現し、包丁を持ち出す。来院後、投与を中止。症状は回復。併用薬の投与量・時点は不明。
3	B-02901634	男	■歳	25 mg	アミノフィリン 塩酸ツロブテロール カルボシステイン 塩酸アンブロキシソール オキサトミド プラナルカスト水和物 エリスロマイシン コハク酸ヒドロコルチゾンナトリウム	興奮	回復	気管支炎のため入院、酸素 Tent 収容。朝よりやや興奮傾向あり。インフルエンザ予防のため、夕方から本剤を投与。本剤投与後、一日中声を出して騒ぐ状態であった。本剤服用5日目、投与中止。翌日興奮回復しその翌日退院となる。
4	B-02902847	男	■歳	75 mg	アスピリン ワルファリンカリウム ジピリダモール カルボシステイン リン酸ジメモルファン	譫妄	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル 75mg/日を投与開始。投与1回目の1時間後に意味不明の発語及び行動が観察される。有害事象発現3時間後に回復、有害事象発現時の記憶なし。以後本剤の服用中止。
5	B-02913397	女	7■歳	150 mg	硝酸イソソルビド バルサルタン オメプラゾール 酸化マグネシウム トリアゾラム センノシドA、B センノシド 塩酸パロキセチン水和物 マレイン酸レボメプロマジン	妄想 落ち着きのなさ	軽快	被害妄想顕性化のため入院加療、抑うつ神経症の診断あり。インフルエンザ感染症を疑い、リン酸オセルタミビル 150mg/日5日分を処方。投与3日目未明、意味不明語、妄想、不穏、徘徊あり。他剤投薬により少しずつ精神状態安定化。本剤継続。本剤5日間の投与終了後、3日目に症状軽快し、経過観察中。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
6	B-02914446	女	■歳	36 mg	セフポドキシムプロキセチル トシル酸スルタミシリン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン	高揚状態	回復	発熱により他院受診。セフポドキシムプロキセチルが処方。2日後、リン酸オセルタミビル他を処方より服用開始。服用開始2日後、気分高揚症状発現。母親によるとほぼ酔い状態であるとのこと。服用開始4日目の朝で服用中止、その後次第に気分高揚状態が軽快。服用後7日後に回復。医師は、本剤を中止したのみで症状が回復しているため、因果関係ありと考察。
7	B-03008735	女	8■歳	150 mg	乳酸リンゲル液 医療用酸素	全健忘	回復	上咽頭粘膜のインフルエンザA抗原陽性と診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与3日目まで有害事象発現せず。最終投与後未明に失見当識及び病棟内徘徊(但しミオクローヌスはなし)。翌朝も記憶力低下が観察される。患者家族と相談の結果退院後、処置なしで回復。但し、有害事象継続中の記憶は欠如のまま。
8	B-03009902	男	1■歳	150 mg	dl-マレイン酸クロルフェニラミン カンゾウ抽出物・メタケイ酸アルミン酸マグネシウム ヒベンズ酸チペピジン 塩化リゾチーム プロチン キョウニン水 単シロップ トローチ〔複合〕 ポビドンヨード アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。同日夜、75mgを服用し、その2時間半後、家の中を走り回ったり、意味不明の奇声など異常行動出現。40分後、受診したが、受診時の意識は正常、譫妄状態時の記憶なし。点滴し1時間ほどで帰宅。翌日もリン酸オセルタミビル150mg/日を服用(併用薬も継続)。異常所見なく、6日間服用し終了。
9	B-03010203	男	1■歳	150 mg		妄想	未回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。同日夜、内服。翌日昼、解熱したが、異常な発言あり。その翌日、本剤の投与中止。その後言動のまとまりがなくなり、統合失調症の発症が疑われた。本剤投与中止12日目に、幻覚妄想が活発に認められ、入院。病院内を落ちつきなく徘徊。幻覚妄想は未回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
10	B-03011945	男	1歳	150 mg	非ピリン系感冒剤	異常行動	回復	診断キット(一)だが、リン酸オセルタミビル150mg/日及び非ピリン系感冒剤を処方。夜、1回分を服用後、翌明け方、39℃の熱と、意味不明の発言、尿失禁あり。朝、本剤を内服し、午後から解熱。夕方、意味不明の発言が見られ、玄関とは全く違う方向へ歩いていこうとしたが、家人の呼びかけで元に戻った。受診したが、受診時は意識清明。内服薬を中止し、入院して様子を見たが、異常行動はなかった。
11	B-03900831	女	3歳	150 mg	アセトアミノフェン 安息香酸ナトリウムカフェイン 開始液 セフポドキシムプロキセチル 塩化リゾチーム dl-マレイン酸クロルフェニラミン サリチル酸ナトリウム 鎮咳剤 アスコルビン酸・L-システイン カルボシステイン	不安 知覚過敏	回復	発熱(38~39℃)、頭痛、関節痛、咽頭痛、咽頭発赤、不穏状態にて本剤投与開始。 翌日の夜中、不眠、不安発現。服用中止。 翌日、幻覚発現し、来院。その後も興奮状態続き、知覚過敏が発現。 その2日後、不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消失。 その5日後、回復
12	B-03900982	男	1歳	150 mg	クラリスロマイシン 臭化水素酸デキストロメトर्फアン カルボシステイン リン酸コデイン 酸化マグネシウム	異常行動	回復	B型インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビル及び他の併用薬服用開始。服用2日目の16時異常行動発現(突然2階から降りてくる、ウサギ跳びをする、異常な発言)、家族がなだめ就眠。20~21時異常行動(ベッドから飛び降りる、異常な発言あり)。3日目朝全て薬剤中止。異常行動発現5日後に回復。
13	B-03901038	女	1歳	150 mg	塩酸チアラミド リン酸ジヒドロコデイン 塩酸メチルエフェドリン マレイン酸クロルフェニラミン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。夕方、75mgを服用。翌日、39℃の熱が下降すると同時に走り始め窓から飛び降りようとしたり、奇声を発した。翌日も同様の状態が続いた。2日後には症状はなくなり、投与開始5日目の朝の服用で本剤の投与終了。
14	B-03901089	男	2歳	75 mg	クラリスロマイシン セラペプターゼ 消化酵素 耐性乳酸菌	気分変動	回復	発熱、咳、咽頭痛等有り受診、A型インフルエンザと診断。治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。本剤投与10分後、気分変動有り、何をするか分からない(例えば刃物を振り回すかもしれない)感じがした。玄関の辺りでドアを蹴飛ばしたりした後、倒れていたため、救急搬送される。病院にて処置を受けた後帰宅。その後、症状回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
15	B-03905859	男	■歳	150 mg	塩酸セフカペンピボキシル セラペプターゼ フェジゾ酸クロペラスチン	無感情 異常行動 意識レベルの低下	回復	微熱が持続していたため、臨床的にインフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与2日後返答しない、活動性低下の変化を認め、本剤投与中止。中止後、翌日、翌々日と突然意味不明の発言や行動が見られる。その後、徐々に活気改善し異常行動認められず。
16	B-03933860	女	■歳	60 mg	テオフィリン 塩酸プロカテロール 塩酸ブロムヘキシシ ツブテロール オウヒエキス	失見当識	回復	インフルエンザA型と診断されリン酸オセルタミビルを投与開始(投与期間不明)。投与後、少しボーッとした感じあり。その日の夜より落ち着きなく動き回る。呼んでも返事なし。焦点も定まらない。検査を行ったところ、テオフィリンの血中濃度がやや高値をしめすもEEG、MRI、髄液検査に異常なし。投与開始8日後、症状回復し退院。
17	B-04007197	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン	幻覚 下肢骨折	不明	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル75mg及びアセトアミノフェンを処方。同日夕方、自宅2階より飛び降り両下肢骨折し、入院。主治医によると本剤を服用していない可能性もあるとのこと。
18	B-04008399	男	1■歳	75 mg	塩酸アマンタジン アモキシシリン セラペプターゼ 塩酸アンブロキシソール 耐性乳酸菌製剤(3) ソファルコン	異常行動	死亡	塩酸アマンタジン他を処方。翌日、インフルエンザA型と診断、塩酸アマンタジンを中止し、リン酸オセルタミビル75mgを処方(併用薬は継続)。昼食後内服し、約2時間後、突然素足で飛び出し、1m以上のコンクリート塀を跳び越え線路を横断し、ガードレールも越えトラックにはねられた。胸部外傷によるショック死。主治医によると、平成14年2月に本剤を5日間投与しているが異常なかったとのこと。
19	B-04008522	男	1■歳	75 mg	ジプロフィリン・メトキシフェナミン 配合剤 カルボシステイン アセトアミノフェン	意識レベルの低下	不明	インフルエンザA型と診断、昼食後リン酸オセルタミビル75mg他を服用し、就寝。3時間後、意識障害をおこし、マンション6階のベランダから飛び降り、外傷等により搬送。以前に発熱時に本人の無意識下に歩き回る程度のことは認められたとの由。
20	B-04008530	男	■歳	78 mg	塩酸ブロムヘキシシ ヒベンズ酸チベピジン 酒石酸アリメマジン	譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル78mg/日他を処方。2回服用後、夜から翌明け方にかけて40℃の高熱が続く。明け方、異常な発言があり、興奮して家の中を走り回り、譫妄状態に陥った。同日も本剤を服用。同日、譫妄回復。その後も2日間服用し、母親が投与中止。その後譫妄状態はおきなかった。

No	識別番号	性	年齢	1回用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
21	B-04009035	男	1■歳	150 mg	セフトレンピボキシル D-マンニトール アシクロビル 塩酸セフォチアム	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日及びセフトレンピボキシル等を処方され内服。同日夜、突然「苦しい」と顔つきが異常になり、自宅2階の窓から飛び降りた。救急車で来院時、意識清明。投与開始から6日目で本剤の投与終了。
22	B-04027261	女	9■歳	150 mg	セフトリアキソンナトリウム レボチロキシナトリウム 硝酸イソソルビド アロプリノール 酸化マグネシウム センノシド フロセミド メナテトレノン エトドラク 塩酸タムスロシン パンテチン ポリスチレンスルホン酸カルシウム カルボシステイン 鎮咳配合剤(1) 桜皮エキス	譫妄	軽快	慢性腎不全、慢性心不全及び甲状腺機能低下症の既往あり。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与(投与開始翌日より入院投与)。投与開始後3日目、せん妄発現。4日目、意味不明の言動、興奮、職員への暴力あり。5日目、意味不明の言動及び興奮は消失するも、覚醒度不良のためリン酸オセルタミビルの服用中止。投与中止後6日目もつじつまの合わない発語が時々あり。7日目、せん妄軽快。
23	B-05000151	男	■歳	不明	セフテラムピボキシル 酪酸菌製剤 カルボシステイン	幻覚 落ち着きのなさ	回復	B型インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビルを投与開始。2回目投与の2時間後、異常な発言、歩き回る状態が見られ、パニック状態となる。有害事象発現3時間半後に救急受診したときには意識清明、回復、本剤投与中止。その後は有害事象発現せず。
24	B-05000677	男	■歳	84 mg		意識レベルの低下(意識障害) 異常行動(行動異常)	回復	前日來の発熱のため受診し、インフルエンザAと診断されリン酸オセルタミビルを投与。投与後2時間後に意味不明な発言、意識障害、行動異常が発現。近医を受診したが神経学的異常なく無処置で帰宅。その後再度服用すると、その後より急に起きあがり、歩き回り、幻覚も合併。救急外来を受診。異常運動を認め入院。輸液治療により7時間後に回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
25	B-05000689	女	■歳	39 mg	セフトレキシム アセトアミノフェン ヒベンズ酸チペジン カルボシステイン ジアゼパム	易興奮性(興奮状態)	軽快	4日前から発熱し、感冒薬を投与するも解熱せず受診。確定検査でインフルエンザAと診断。急性肺炎を危惧し、感染予防薬と共にリン酸オセルタミビルを投与。2回投与後に解熱するが、興奮状態で泣きわめく。翌朝本剤内服後歩行ふらつき状態。午後目覚めてから号泣、異常な興奮状態。ジアゼパム投与し、本剤の投与を中止した。2日後に軽快、睡眠良好。
26	B-05000692	男	7■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン	痙攣(痙攣) 意識レベルの低下(意識障害)	回復	38°Cの発熱と咳嗽により受診、インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビルを4日間投与。突然大きないびきと共に暴れ出す。意識障害と痙攣、全身間代性発作発現。7分後発作消失。意識は約1日半後清明となる。高CK血症、GOT、LDH上昇あり。
27	B-05000875	男	7■歳	150 mg	エスタゾラム トリアゾラム 酒石酸ゾルピデム プロムフレリル尿素 エチゾラム ジアゼパム ワルファリンカリウム 塩酸チクロピジン 塩酸メトホルミン マレイン酸トリメブチン シルニジピン	譫妄(せん妄)	回復	脳梗塞、胃癌、不眠症、糖尿病、高血圧の既往症。39°Cの発熱があり受診、インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビルを投与。当日解熱したが、夕食後本剤を服用、同時に常用薬の眠剤も服用。その後せん妄が発現。部屋を引っかき回したように荒らしている。翌朝にはせん妄は回復。解熱まで眠剤の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示したところ発現せず。
28	B-05001829	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤 カルボシステイン	譫妄(せん妄) 痙攣(痙攣)	後遺症	高熱あり、救急外来受診。A型インフルエンザと診断され、治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。その後、せん妄・痙攣発現。病院に救急搬送され、入院となる。その後急にベッドから立ち上がり、点滴ラインを引っ張った。翌日早朝、意識清明となり覚醒し、頭痛や麻痺・硬直等の症状緩和。翌日、解熱、異常行動なく全身状態改善のため退院となるが、後遺症あり。
29	B-05001832	男	1■歳	150 mg		精神障害	回復	インフルエンザ診断を行った結果、A型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビルを投与。16時頃本剤1回目服用。23時頃2回目服用。その3時間半過ぎに自宅の2階から飛び降りた。その際体温は38°C。翌日朝、受診。

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
30	B-05002487	男	1歳	75 mg		意識レベルの低下	死亡	発熱、咽頭痛、関節痛にて受診。A型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤服用2時間後、9階自宅より転落。出血性ショックにより死亡。主治医によると転落したときの状況は誰も見ていないため意識障害、精神障害があったかは不明。
31	B-05017753	女	1歳	150 mg	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チペピジン 非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン アズレンスルホン酸ナトリウム・炭酸水素ナトリウム 塩化デカリニウム	譫妄(せん妄)	回復	咳、咽頭痛、関節痛、発熱あり解熱剤使用するも改善されず受診。インフルエンザ予防目的にて本剤投与。本剤投与2日後、朝より被害妄想、異常行動、せん妄発現。落ち着がなく、家中うろろしていた。本剤投与中止3日後、精神的に落ち着き、平常の状態に戻る。
32	B-05018854	男	■歳	112 mg	臭化水素酸デキストロメトर्फアン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動(精神症状(異常行動))	回復	発熱有り受診し、A型インフルエンザと判断される。本剤投与後、仮眠しその1時間半後異常行動発現。突然起き上がり、玄関から飛び出していこうとした。1時間程で異常行動抑制され、次第に記憶回復。状態が過落ち着いたところで受診。頻脈、多呼吸、チアノーゼ等なく経過観察。翌日解熱し、その後も精神症状なし。
33	B-05020017	男	5歳	150 mg		精神症状(精神症状)	回復	インフルエンザ治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。本剤服用4日目、夜分服用し2時間後に精神症状発現。突然うつ状態になり、自殺したくなる。窓から飛び降りたくなる衝動にかられる。翌日、精神症状回復したが、本剤服用を自発的に中止。
34	B-05020834	女	■歳	不明 (4mg/kg/日)		幻覚(幻覚) 異常行動(異常行動)	回復	リン酸オセルタミビル4mg/kg/日処方。夕投与1時間後にドアノブを強く回し続ける異常行動、幻覚発現。救急車搬送入院。翌日回復。
35	B-05021030	男	1歳	75 mg	非ピリン系感冒剤(4) セラペプターゼ アセトアミノフェン イブプロフェン	易興奮性(興奮(異常行動))	回復	インフルエンザA診断後リン酸オセルタミビル投与開始。翌日興奮状態で自宅を飛び出していくが、しばらくして帰宅(本人は覚えている)。その後解熱、興奮(異常行動)回復。
36	B-05021111	男	1歳	150 mg	アセトアミノフェン 非ピリン系感冒剤(4) 塩酸エブラジノン アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン	妄想(妄想)	回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。その夜、家人を見て怖い怖いとベランダから逃げるような行動をとる。妄想発現。救急外来受診。翌日回復。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
37	B-05021185	女	■歳	84 mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	譫妄(せん妄状態)	回復	発熱(40°C)インフルエンザA診断確定後リン酸オセルタミビル投与開始。朝夕服用後入眠、2時間後覚醒し譫妄発現(部屋の中を走り回る。)(本人は覚えていない。)譫妄状態持続時間30分、一旦入眠するが2時間後に再発30分で回復。発現中は発熱なし。翌朝40°C発熱、入院し輸液により解熱。その3日後退院。
38	B-05021659	男	■歳	102 mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン ソリタT-1(点滴) 酢酸維持液(ブドウ糖加)(点滴)	異常行動	回復	確認診断にて、本剤、アズベリン、ムコダイン処方。本剤投与5時間後、異常行動(人形に話かける、部屋を歩き回る、意味なく笑い出す、九九を唱えるなど)発現。救急車にて来院し入院となる。入院時、意識ほぼ清明。翌日、解熱する。本剤投与し続けるも異常行動発現なし。処方全て服用する。
39	B-05021887	男	■歳	60 mg	セフテラムピボキシル ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン 耐性乳酸菌製剤	激越 幻覚	回復	小児科受診時、トミロン、アズベリン、ペリアクチン、ムコダイン、エンテロノン-R処方。夕刻、発熱(39.0°C)のため来院、脱水症状あり。発症時所見で発熱(38.3°C)、意識障害あり。本剤服用後、幻覚、興奮状態発現(異常な発言あり、暴れ出す)。救急車にて来院、すぐにおとなしくなり、けいれんも発現なし。神経学的異常なし。その後、幻覚、興奮状態発現なしのまま本剤投与終了。
40	B-05022154	男	1■歳	75 mg	ジクロフェナクナトリウム 臭化水素酸デキストロメトर्फアン 塩化リゾチーム アズレンスルホン酸ナトリウム・L- グルタミン クラリスロマイシン バファリンA	激越 落ち着きのなさ	回復	高熱(40.2°C)のため、受診。咽頭部の発赤、腫脹あり。本剤、ボルタレン他を処方。帰宅後、本剤、ボルタレン他を服用し、38°Cに解熱。その後、嘔吐し、睡眠する。本剤の服用は中止している。突然覚醒し、興奮状態(大声を出し、興奮状態でドアをこぶしで叩き壊し、膝蹴りなどでテレビを割るほど殴る:3~4分間)となり、両手甲部に外裂傷。3時間半後、体温39°Cになり、精神状態も落ち着く。翌日、体温37°C、不穏状態、興奮状態は回復。



No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
41	B-05022379	男	■歳	20 mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動 低体温	回復	本剤2回投与後に低体温発現。 その後、異常行動発現(急に走り出して変な姿勢で止まる)し、入院となり経過観察となる。 入院中に異常行動なし。 翌日、低体温回復し、退院。異常行動も回復。
42	B-05022380	男	■歳	60 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキソール 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン	異常行動	軽快	発熱、咳嗽にて本剤処方。 本剤、解熱剤服用後、異常行動発現(奇声をあげる、意味不明な事を言う、数が数えられない、自分の年齢がわからない)し、入院となる。 入院時、点滴のみで観察。異常言動なし。 翌日、自分で点滴抜去、病棟内を一人でうろつく。 脳波異常所見あり、MRI異常所見なし。 3日後、異常言動軽快退院
43	B-05022381	男	1■歳	75 mg	ドンペリドン シプロフェリン・ジヒドロコデイン配 合剤 アルジオキサ 塩酸エピナスチン レボフロキサシン 維持液(3) メトクロプラミド	錯乱状態 落ち着きのなさ	回復	発熱(38°C)、咳、鼻症状にて本剤処方。服用後、錯乱、不 穏発現(異常な発言とともに、窓に向かって走り出す(マン ションの9階))。 ガラスは、鍵をかけており事故にはならなかったが、両親でお さえなければならぬほどの力で暴れた。 服用中止し、錯乱、不穏回復。
44	B-05022780	男	■歳	46.5 mg	トラニキサム酸 メキタジン	異常行動 激越	回復	髄膜炎の既往歴あり。発熱のため、確定診断後本剤処方。 体温39.6°C、2回目服用後、就寝するが、激越発現(急に 大声でわめきながらおきる)。その後翌日正午まで、異常 行動(異常な発言とともにベットや机、椅子の上に乗リピョ ンピョン跳び上がる。家中を歩き回る。)継続する。 起床するが、覚えていなく、ボーっとしている。本剤の服用 中止する。その後2日間は16~18時間の睡眠をする
45	B-05023219	男	2■歳	150 mg	不明	躁病	軽快	躁うつ病の家族歴あり。 発熱(39.4°C)、咳、鼻症状にて確定診断後本剤処方。夕刻 39.7°C内服開始。 翌朝36°C台となるが、夜寝ようとしてもソワソワして眠れな かった(躁状態)。本剤の服用が終了しても、躁状態継続 し、歩き回り、入院となる。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
46	B-05023443	男	■歳	46.5 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸プロモヘキシ ン 塩酸シプロヘプタジ ン	精神症状	回復	発熱(39.5℃)、咳、鼻症状にてアズペリン、ピソルボン、ペリアクチン、本剤を処方。 本剤服用後、精神神経症状(二段ベットの上段で手を広げて立ち上がる、ベットから降りてベランダへ走って行き手すりにつかまって飛ぶ動作等)、尿失禁発現。 翌日、投与中止し、精神神経症状、尿失禁回復
47	B-05023468	男	1■歳	105 mg		異常行動	軽快	発熱(38.7℃)、頭痛、咳にて本剤処方。本剤投与後、異常行動発現(異常な発言とともに布団を持ち上げた後、急に外に向かって走って出ていこうとした)し、入院。 入院後は異常言動出現なし。 翌日、解熱し、本剤投与中止。異常行動回復。
48	B-05023592	男	■歳	100 mg	アセトアミノフェン	譫妄 失見当識	回復	頭痛、咳、鼻症状があり、インフルエンザ陰性であったが、本剤処方。 3回服用後、就寝中に突然起き上がり、せん妄、見当識障害発現(異常な発言をしつつ徘徊、急に笑ったり、物を数える)。 その後入院し、輸液経過観察。せん妄以外は意識清明で発熱、感冒症状は呈していた。 翌日、就寝中に見当識障害(意味不明なことを言い笑う)を起こすが、その後せん妄、見当識障害回復
49	B-05023595	男	1■歳	60 mg	アセトアミノフェン ドンペリドン	異常行動 幻覚	回復	発熱、関節痛、悪寒、咳、咽頭痛発赤にて、確定診断後本剤、カロナール、ナウゼリン処方。 本剤投与後、幻覚症状(怖がって逃げる)、異常行動(異常な発言をする、「怖い、怖い」と泣く)発現。 1時間後、改善
50	B-05023597	男	■歳	60 mg		異常行動	回復	咳嗽、咽頭痛、眼痛、発熱(38.6℃)出現し、その後体温40℃となり、異常な発言をする。頭痛、腹痛も出現。 翌朝、姉に処方されていた本剤を服用(発熱継続)。 夕刻、再度服用その後、異常行動発現(奇声を発し怖い目をして呼び出し、勢いよく外へ飛び出した)し、救急外来を受診。 受診時意識清明。入院の上点滴のみで経過観察を行うが特にかわりなく2日後退院。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
51	B-05023672	男	1■歳	60 mg	臭化水素酸デキストロメトर्फアン メキタジン ラクトミン	異常行動	回復	発熱(39°C)、咳、鼻症状、消化器症状にて確定診断後本剤内服し就寝。 その後、異常行動発現(トイレに行こうとするが、様子がおかしく、その後突然外出し、団地4階より階段を下りて下にある自転車で走り出す。奇声を上げる)。 15分後帰宅するが、意識がぼ一つとしており、発語もはっきりせず、朝まで経過 翌朝、起床時には回復。その後夜間診療まで、異常行動なく、受診時も、意識清明、問題行動なく、解熱、インフルエンザ症状軽減。
52	B-05023789	女	■歳	33 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘブタジン カルボシステイン 塩酸セフカベンピボキシル アセトアミノフェン	幻覚 異常行動	回復 回復	高熱のためリン酸オセルタミビル並びにヒベンズ酸チペピジン、塩酸シプロヘブタジン及びカルボシステインを服用数時間後、意味不明な言葉を話して部屋から走って出てくる。異常行動としてはいかいも見られた。次の日に再度リン酸オセルタミビル並びにヒベンズ酸チペピジン、塩酸シプロヘブタジン及びカルボシステインを服用するも、直後に嘔吐する。リン酸オセルタミビルの服用を中止し、6日後に幻覚症状やはいかから回復する。
53	B-05023790	男	1■歳	66 mg		異常行動 意識レベルの低下 外傷性骨折	回復 回復 不回復	A型インフルエンザの診断後、リン酸オセルタミビルを服用した後、自宅マンションの2階より転落。意識障害や異常行動が発現していた。4~5日目も夜間にうわごとがあった。13日目には意識障害と異常行動が回復していた。
54	B-05023978	男	■歳	60 mg	麻黄湯	異常行動	回復	インフルエンザの診断を受けてリン酸オセルタミビルを服用。約6時間後に急にびっくりして怖がる様子で叫びだして外に走り出そうとしたり、台所に隠れようとする異常行動が発現し、緊急外来にて経過観察。その後、異常行動は回復。
55	B-05024102	男	1■歳	75 mg	カルボシステイン 塩酸ホモクロルシクリジン 臭化水素酸デキストロメトर्फアン アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.2°C)が見られたため、リン酸オセルタミビルが処方された。リン酸オセルタミビルを夕方に服用後、翌日の0時40分頃に異常行動が発現し、団地2Fのおどり場より転落した。脳挫傷、頭蓋骨折、両大腿骨骨折。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
56	B-05024268		7■歳	150 mg		異常行動 大腿骨骨折	未回復 未回復	A型インフルエンザで発熱(39.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの投与開始。投与開始当日に異常行動が発現した。投与開始から3日目にインフルエンザが軽快し、リン酸オセルタミビルの投与が終了した。投与終了後から2日目に2階より飛び降りて大腿骨を骨折した。
57	B-05024270	女	1■歳	114 mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸アンブロキシソール クラリスロマイシン	情動障害 退行行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.2℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの投与開始。初回投与開始から2~3日目に情緒障害と異常行動が発現。情緒障害と異常行動が約10日に回復した。 アセトアミノフェンはリン酸オセルタミビル投与開始1~2日間に併用されており、臭化水素酸デキストロメトルファン及び塩酸アンブロキシソールはリン酸オセルタミビル投与開始から4日間投与された。
58	B-05024386	男	5■歳	150 mg	アミノフィリン リン酸ベタメタゾンナトリウム フロモキシセフナトリウム 維持液(3) プロピオン酸フルチカゾン テオフィリン 塩酸フェキソフェナジン ファミデジン	意識レベルの低下 呼吸困難	回復 回復	A型インフルエンザの確定診断を受け、リン酸オセルタミビルを投与開始初日の夕方と就寝前に服用。投与開始から2日目の午前5時に呼吸苦が発現し、暴れ出した。また、意識障害が発現した。呼吸苦は発現当日に回復し、意識障害は発現翌日に回復した。
59	B-05024606	男	1■歳	108 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.3℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始。投与開始当日の夜間に異常行動(「学校へ行く」と言い、ランドセルを背負って外出しようとする。)発現。また、投与開始から2日目の夜間にも異常行動(悪夢を見て怖いと言い、外出しようとする。)発現。投与開始2日まででリン酸オセルタミビルの服用を中止し、投与開始5日目に異常行動が回復した。
60	B-05024748	男	1■歳	75 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを夕方に服用した。服用開始した日の夜に2階より飛び降りる異常行動が発現。飛び降りから約2時間半後に病院へ搬送された時には異常行動は回復していた。右踵骨骨折、左第5指中足骨骨折、両足部外傷性皮膚欠損。飛び降りから約4時間後に頭部CTを実施し、明らかな浮腫や脳症を疑う所見を認めなかった。